

2026年3月4日

当院の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「超緊急輸血における異型輸血使用実態と疾患分類別特徴の後方視的検討」への協力をお願い

輸血・細胞治療部では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2015年1月1日～2025年12月31日の間に、当院において、異型輸血を受けられた方

**研究期間：**研究機関の長の研究実施許可日～2027年7月31日

**研究目的・利用方法：**

本研究の主な目的は、超緊急輸血の依頼が行われた症例を対象とし、異型輸血における血液製剤の依頼量および実使用量の推移を遡って解析し、その使用実態を明らかにすることです。また、同型輸血への切り替え後の使用状況や、年齢および疾患別の特徴を解析し傾向を明らかにすることも目的としています。

本研究により得られたデータは、血液製剤の適正な準備や在庫管理の検討資料になるだけでなく、将来的な大量輸血プロトコル(Massive Transfusion Protocol : MTP)の作成や運用評価の重要な基礎資料となることが期待されます。

**研究に用いる情報の項目：**

以下の項目について、診療録および輸血管理システムから情報を取得します。

これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

【患者単位データ】

- 年齢
- 性別
- 異型輸血依頼日および依頼時間(時間内/時間外)
- 疾患分類(外傷、心臓血管外科、産婦人科系、その他領域に分類)
- 患者血液型

【輸血関連データ】

- 使用した輸血製剤の種類(赤血球製剤、新鮮凍結血漿、血小板製剤、クリオプレシピテート製剤)
- 異型輸血として依頼された輸血製剤の単位
- 異型輸血として実際に使用された輸血製剤の単位数
- 異型輸血後に切り替えられた同型輸血の使用有無および使用単位数

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026年3月6日

### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

### 研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部  
氏名：細野 裕未奈

### 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部  
電話番号：058-230-7266  
氏名：細野 裕未奈

### 【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係  
〒501-1194  
岐阜県岐阜市柳戸1番1  
Tel：058-230-6059  
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp